

安全対策部

部長 山田 隆

安全対策部

○事業委員会

委員長	片倉 善文	群馬県
副委員長	影山 広美	北海道
委員	川内 慎吾	新潟県
委員	小瀬 強	岐阜県
委員	須藤 光春	青森県

○技術検定委員会

委員長	秋元 洋一	北海道
副委員長	鈴木 恵太	山形県
委員	織田 久	東京都
委員	富樫 泰一	茨城県
委員	米田 幸雄	兵庫県
委員	田村 一司	長野県

■全国安全対策委員長会議（資料1）

○役員会議

日時：平成24年11月10日（土） 10：00～12：00

場所：岸記念体育会館（101会議室）

役員：山田隆，片倉善文，秋元洋一，富樫泰一

○委員長会議

日時：平成24年11月10日（土） 13：00～16：30

場所：岸記念体育会館（101・102会議室）

役員：山田隆，片倉善文，秋元洋一，富樫泰一

オブザーバー：小林英記，一戸繁輝，保坂淳司

司会：富樫泰一

1. 出席者紹介 27名
2. 開会宣言（片倉 善文）
3. SAJ代表挨拶・SAJ報告（山田 隆）
4. 安全対策部事業委員会委員長報告（片倉 善文）
5. 安全対策部技術検定委員会委員長報告（秋元 洋一）
6. 事業計画（富樫 泰一）
7. 加盟団体報告（秋元 洋一）
8. 日本スキーパトロール協議会報告（保坂 淳司）
9. スキー安全会報告（小林英記）
10. その他
11. 閉会宣言（秋元洋一）

■パトロール中央研修会・パトロール技術員研修会

【会期】	平成24年11月23日（金）～25日（日）
【会場】	長野県・志賀高原高天原スキー場
【主催】	（財）全日本スキー連盟（所管：教育本部安全対策部）
【協賛・協力】	甲信越ブロック
【事業の目的】	1. 安全対策部の活動方針・事業内容の周知 2. スキーパトロール検定会・研修会の任務遂行に必要な理論および実技課題に関する研修

【役員】	責任者：山田 隆 主任：片倉善文 講師：秋元洋一，影山広美，川内慎吾，小瀬 強，須藤光春 鈴木恵太，織田 久，富樫泰一，米田幸雄
【参加者】	北海道を除くパトロール技術員
【宿舎】	ホテル銀嶺 〒381-0401 長野県下高井郡山ノ内町志賀高原高天ヶ原

○1 日目

			項目 担当者	内容
14:00			役員集合	役員会議 ・事業・研修内容と役割分担確認
16:00	-	16:30	開会式 富樫	次第 ・責任者挨拶 ・主任挨拶 ・役員紹介 ・技術員紹介 ・日程説明 ・事務連絡（宿泊代，昼食代，リフト代支払いについて）
16:30		18:00	理論講習 1 影山	(1)新検定種目について 資料 1 (2)その他
18:00			夕食	
19:00	-	21:00	理論研修 2 富樫	(1)安全対策部規程等について (2)全国安全対策委員長会議等について (3)その他

○2 日目

			項目 担当者	内容
07:00			朝の集い 小瀬	
07:30			朝食	
09:00	-	11:00	実技研修 1 鈴木	・プルークボーゲン ・横滑り ・片開きプルーク
11:30	-		昼食	
12:30	-	14:30	実技研修 2	(1)基礎種目 2 ・パラレルターン ・総合滑降
15:00		17:00	実技研修 3	(2)搬送種目 ・浅まわり搬送 ・大まわり搬送 ・真下搬送
18:00			夕食	
19:00	-	21:00	実技研修 4	(3)ロープ操法 資料 3 (4)三角巾包帯法 資料 4

○3 日目

			項目 担当者	内容
07:00			朝の集い	07:00

			須藤	
07:30			朝食	
08:30		10:30	理論研修 3 富樫・織田	(1)頸椎損傷理論 資料 5 ・頸椎の機能と構造 ・頸椎損傷メカニズムと症状 ・症例研究 (2)頸椎損傷演習 ・ニュートラル位 ・呼吸の管理 ・頸椎カラー装着 ・ヘルメット離脱 ・ログロール ・全脊柱固定
10:30	-	12:30	理論研修 4 秋元	(1)安全対策部事業内容と役割分担について ・検定会第 1 会場（北海道・ルスツ） ・検定会第 2 会場（群馬・草津国際） ・研修会第 1 会場（北海道・美唄国設） ・研修会第 2 会場（福島・南郷） ・研修会第 3 会場（群馬・尾瀬戸倉） ・研修会第 4 会場（石川・白山千丈温泉セイモア） ・技術競技大会（群馬・尾瀬戸倉） (2)その他
12:30	-	13:00	閉会式 富樫	次第 ・責任者挨拶 ・主任挨拶 ・事務連絡
13:00			解散	

■パトロール技術員研修会

○北海道会場

【会期】 2012 年 11 月 31 日（金）～12 月 2 日（日）

【会場】 北海道会場：札幌国際スキー場

【責任者】 登山 一成

【講師】 秋元 洋一，影山 広美

【参加者】 北海道ブロックパトロール技術員 男子 14 名，女子 2 名 合計 16 名

【日程及び概要】

○11 月 30 日：19：00～21：00 役員打合わせ

○11 月 31 日：14：30～15：15 開会式，15：15～16：00 理論研修（SAJ 報告・SAH 報告），16：00～18：00 理論研修（パトロール研修テーマ，検定種目について），20：00～22：00 理論研修（ロープ躁法）

○12 月 1 日：9：00～14：00 雪上実技研修（スキー技術），15：00～17：00 理論研修（スキーと自律神経活性について），17：00～18：00 理論研修（今シーズンの事業について）

○12 月 2 日：10：00～13：30 雪上実技研修（スキーパトロール技術），14：00～14：30 閉会式

【研修時間】 理論 5 時間 45 分， 実技 10 時間 30 分

【所見】

シーズンはじめかかわらず、降雪に恵まれ、さらにスキー場関係者の尽力により、絶好のグレンデコンディションの中、しっかりと内容で予定通りに研修をすることができた。

雪上においては、今シーズンのパトロール研修テーマの理解と確認、さらに検定種目改訂にともなって新種目のねらいと要領についての相互交流を図り、深めることができた。さらに、今後でてくるであろう課題について、個々に明々に明確にいくことを確認した。

室内においては、養成講習等における、指導の際に、ポイントとなる部分を確認した。さらにロープ操法については、効果的な指導法について相互交流を行った。

研修会を通して、技術の確認と、意識の高揚と共有化を図ることができたと評価することができた。

■公認スキーパトロール検定会

○第1会場

【会期】	2013年3月1日(金)～3日(日)
【会場】	北海道・ルスツリゾート
【本部宿舎】	ルスツリゾートホテル
【責任者】	登山 一成
【主任検定員】	秋元 洋一
【現地総務】	池田 卯一郎
【検定員】	山本 武志, 高橋 渉, 藪 智樹, 山村 誠, 高橋 晴実
【参加状況】	申込者 12名, 受検者 11名, 合格者 11名, 不合格者 0名, 合格率 91.7%
【日程】	○2月28日(木) 17:00 役員集合(本部宿舎)・検定委員会議 ○3月1日(金) 10:00 受検者受付(本部宿舎), 開会式, 学科オリエンテーション, 理論テスト ○3月2日(土) 09:00 雪上搬送種目テスト, 雪上基礎種目テスト ○3月3日(日) 09:00 救急法・ロープテスト, 閉会式・合格発表・諸手続き
【所見】	<p>開会式は、軽い緊張感のある中で行われ、受検生の意欲をかきたてることができた。</p> <p>理論テストの結果は、全員非常に良好であった。</p> <p>雪上種目検定実施日は荒天であったが、スキー場の全面的な協力もあり、ほぼ予定通り実施できた。今年度から検定規定が改正されたことに伴い、斜面設定や検定眼について事前の打ち合わせを十分に行い実施した。フリー滑降は、スキーパトロールに必要とされる技能を見とれる自然の地形を活用し行った。雪上種目は、養成講習会等での成果もあり良好な成績を収めることができた。</p> <p>室内種目においても、包帯法・ロープワーク共に良好な結果であった。検定種目のうち、今回改定された雪上基礎種目は、スキーパトロールの実際の業務を行う上で必要とされる様々なスキー技能を見極めるのに、有効であると思われる。</p> <p>検定会の実施にあたり、ご協力していただいた北海道スキー連盟、及びルスツリゾートスキー場ほか各位の協力によりスムーズな運営ができたことを感謝申し上げたい。</p> <p>受検者の本検定に向けての準備と意欲には、大変感心させられた。資格取得だけではなく今後スキーパトロールとしての自覚をもち、各地においてスノースポーツの安全と普及のために、大いに活躍してくれることを期待していきたい。</p>

○第2会場

【会期】	2013年3月1日(金)～3日(日)
【会場】	群馬県・草津国際スキー場

【本部宿舎】	草津グリーンパークパレス 〒377-1711 群馬県吾妻郡草津町草津白根 464-523 TEL 0279-88-3960 FAX 0279-88-3950
【責任者】	片倉 善文
【主任検定員】	田村 一司
【現地総務】	富樫 泰一
【検定員】	森山 直温, 杉田 宏恵, 大信田 雅伸, 小瀬 強 ※ 上杉一哲はインフルエンザのため欠席
【参加状況】	申込者 58 名, 受検者 54 名, 合格者 49 名, 不合格者 5 名, 合格率 84.5%
【日程】	○2月28日(木) 17:00 役員集合(本部宿舎)・検定委員会議 ○3月1日(金) 09:00 受検者受付(本部宿舎), 10:00 開会式, 学科オリエンテーション, 理論テスト ○3月2日(土) 07:00 朝のつどい, 09:00 雪上搬送種目テスト, 雪上基礎種目テスト ○3月3日(日) 07:00 朝のつどい, 09:00 救急法・ロープテスト, 12:00 閉会式・合格発表・諸手続き
【所見】	学科試験は、全員合格し日頃の勉強の成果がみられた。 雪上検定当日は朝から暴風が吹き荒れ、リフトがストップし雪上種目検定実施が危ぶまれたが、地元パトロール隊の全面的な支援により、遅延なく検定を終えることができた。 救急法・ロープテストにおいても全員優秀な成績で合格した。 検定会開催にあたり、群馬県スキー連盟安全対策部、草津国際スキー場パトロール隊、草津グリーンパークパレスに感謝して報告とします。

■公認スキーパトロール研修会

○第1会場

【会期】	2013年1月25日(金)～27日(日) 2泊3日
【会場】	北海道・美唄国設スキー場
【責任者】	秋元洋一
【主任講師】	影山広美
【現地総務】	後藤博昭
【講師】	宇山 潔, 奥島 玲子, 小林 勝弘, 今野 聖二, 土澤 満
【修了者】	男子63名, 女子10名, 合計73名
【日程】	□1/25:10:00 役員集合, 10:00～11:00 役員会, 12:00 参加者受付, 12:30～13:30 開講式, 13:30～17:30 実技研修(救急法), 19:00～21:00 理論研修 □1/26:7:00 朝の集い, 9:00～12:00 実技研修(スノーボード操法含む), 13:00～16:00 実技研修, 16:00～18:00 理論研修, 18:00～20:30 情報交換会 □1/27:7:00 朝の集い, 9:00～12:00 実技研修, 12:00 閉講式・解散
【研修時間】	理論4時間30分, 実技10時間30分
【所見】	研修会(第1会場)の美唄国設スキー場は、パトロール研修会としては初めて使用する会場となったが、スキー場関係者の協力を得て、本研修会は予定通り終了した。特に、雪上研修では、今年度改正となったパトロール検定(スキー技術及び搬送技術)の種目について研修し、その改

	<p>正点や狙いについて確認した。また、室内研修では、頸椎損傷への対応として、新旧双方のバックボードや全身固定のバキュームシーネを使用した救急処置やスキーパトロールの特性から予想される状況の中での心肺蘇生（CPR）を研修しスキルアップを図った。研修では講師が一方的に進めることなく、研修生と相互に意見を出し合いながら研修する姿が印象的だった。特に、グループ研修・発表においては積極的で、有意義な研修会となった。</p>
--	---

○第2会場

【会期】	2013年2月1日（金）～3日（日） 2泊3日
【会場】	福島県・南郷スキー場
【責任者】	五十嵐 憲雄
【主任講師】	須藤 光春
【現地総務】	遠藤 秀明
【講師】	齊藤 渡, 高畑 伸也, 土井 智恵子
【修了者】	男子73名, 女子5名, 合計78名
【日程】	<p>□2/1: 10:00 役員集合, 10:00～11:00 役員会, 12:00 参加者受付, 12:30～13:30 開講式, 13:30～17:30 実技研修（救急法）, 19:00～21:00 理論研修</p> <p>□2/2: 7:00 朝の集い, 9:00～12:00 実技研修（スノーボード操法含む）, 13:00～16:00 実技研修, 16:00～18:00 理論研修, 18:00～20:30 情報交換会</p> <p>□2/3: 7:00 朝の集い, 9:00～12:00 実技研修, 12:00 閉講式・解散</p>
【研修時間】	理論4時間, 実技8時間
【所見】	<p>室内研修（バックボード講習, ロープ, 三角巾）のバックボード講習は、外部講師として消防隊の協力により、とても熱の入った講習をしていただき、研修生も目を輝かせながら受講していた。雪上研修（班別テーマ設定型講習, DVD 撮影, 応用シートボート, 湿原ツアー&パーク見学）は、スキー場関係者のご理解とご協力のよって、中身の濃い研修会ができ、日程通りの単位を伝達できた。</p> <p>最後に地元南郷スキー場及び福島県県連関係者一同のご協力に対し感謝します。</p>

○第3会場

【会期】	2013年3月22日（金）～24日（日） 2泊3日
【会場】	群馬県・スノーパーク尾瀬戸倉
【責任者】	山田 隆
【主任講師】	川内 慎吾
【現地総務】	森山 直温
【講師】	奥山 光幸, 新井 和夫, 班目 敦子, 大月 照治
【修了者】	男子69名, 女子14名, 合計83名
【日程】	<p>□3/22: 10:00 役員集合, 10:00～11:00 役員会, 12:00 参加者受付, 13:00～13:30 開会式, 13:30～17:30 実技研修（救急法）, 19:00～21:00 理論研修</p> <p>□3/23: 07:00 朝の集い, 9:00～12:00 実技研修（群馬県防災航空隊・利根沼田広域東消防署・財団法人全日本スキー連盟公認スキーパトロール合同救助訓練）, 13:00～16:00 実技研修（アキヤ・ロープボート操法含む）, 16:00～18:00 理論研修, 18:00～20:30 情報交換会</p>

	□3/24： 07:00 朝の集い，09:00～12:00 実技研修，12:00 閉講式・解散
【研修時間】	理論4時間，実技8時間
【所見】	役員会に於いて、会期中のプログラム、日程と職務分担の確認を行った。 室内研修では、救急法を雪上研修では、検定種目が改訂された為、その内容を確認した。 また、群馬県防災航空隊・利根沼田広域東消防署とのヘリ合同訓練では、けが人収容からヘリ搬送までの一連の流れを実践できた。 室内研修・雪上研修共スキー場関係者のご理解とご協力によって中身の濃い研修会ができたことに感謝し報告と致します。

○第4会場

【会期】	2013年3月8日(金)～10日(日) 2泊3日
【会場】	石川県・白山千丈温泉セイモアスキー場
【責任者】	矢船 保夫
【主任講師】	米田 幸雄
【現地総務】	干潟 守
【講師】	西部 廣明，青木 政明，吉田 守
【修了者】	男子69名，女子10名，合計79名
【日程】	□3/8： 10:00 役員集合，10:00～11:00 役員会，12:00 参加者受付，13:00～13:30 開会式，13:30～17:30 実技研修(救急法)，19:00～21:00 理論研修 □3/9： 7:00 朝の集い，9:00～12:00 実技研修(ビーコン・ゾンデによる遭難者救助訓練含む)，13:00～16:00 実技研修(アキヤ・ロープボート操法含む)，16:00～18:00 理論研修，18:00～20:30 情報交換会 □3/10： 7:00 朝の集い，9:00～12:00 実技研修，12:00 閉講式・解散
【研修時間】	理論8時間，実技8時間
【所見】	役員会に於いて、会期中のプログラム、日程と職務分担の確認を行った。室内研修では、救急法を雪上研修では、検定種目が改訂された為、その内容を確認した。また、雪崩ビーコン・ゾンデによる遭難者救助訓練・アキヤ・ロープボート操法を実施した。室内研修・雪上研修共スキー場関係者のご理解とご協力によって中身の濃い研修会ができたことに感謝し報告と致します。

■第28回スキーパトロール技術競技大会

【大会役員】	会 長	鈴木 洋一
	副 会 長	吉田 肇，坂本 祐之輔
	大会委員長	岡山 紘一郎
	大会役員	谷 雅雄，古川年正，林辰夫，登山一成 五十嵐憲雄，増田千春，矢船保夫
【組織委員会】	委 員 長	山田 隆
	副 委 員 長	片倉善文，秋元洋一
	委 員	鈴木恵太，米田幸雄
【地元役員】		片品スキークラブ会長 萩原壮児 尾瀬スノースポーツクラブ会長 萩原文和 スノーパーク尾瀬戸倉総務部長 小笠原正広 片品村スキー連絡協議会安全対策部長 星野登志

		夫
【総務】		富樫泰一
【地元協力】		片品スキークラブ 群馬県スキー連盟安全対策部 スノーパーク尾瀬戸倉
【競技役員】		
〈雪上競技〉	技 術 代 表	片倉 善文
	競 技 委 員 長	秋元 洋一
	競 技 係 長	鈴木 恵太
	主 審	米田 幸雄
	出 発 審 判	保坂 淳司
	決 勝 審 判	竹田 直彦
	旗 門 審 判 長	山本 武志
	計時計算記録係長	富樫 泰一
	コ ー ス 係 長	森山 直温
	コ ー ス 係	研修会参加者
	セ ッ タ ー	鈴木 恵太, 竹田 直彦
	ペナルティ審判	竹田 直彦, 太田 和明 山川 正一, 辺見 秀利
	会 場 施 設 係 長	和田 均
〈室内競技〉	ロープ競技審判長	米田 幸雄
	ロープ競技審判	山本 武志
	三角巾競技審判長	鈴木 恵太
	三角巾競技審判	保坂 淳司
	計時計算記録係長	富樫 泰一
	計 時 審 判	竹田 直彦, 太田 和明 山川 正一, 辺見 秀利
	会 場 施 設 係 長	和田 均
【参加チーム】	11 チーム (61名)	
【日程】	○3月22日(金) : 17:00 役員・組織委員集合 (本部宿舎) ○3月23日(土) : 08:00 出場チーム受付 (本部宿舎), 10:00 監督会議, 10:30~12:00 ポートチェック, 13:00~13:45 開会式, 14:30~18:00 室内競技, 19:00~21:00 情報交換会 ○3月24日(日) : 09:00~10:00 コースインスペクション, 10:00~12:15 雪上競技, 13:30 表彰・閉会式	
【所見】	大会申込 12 チーム中, 11 チームが参加した。大会初日は, 室内競技 (三角巾・ロープ) を実施した。研修会参加者が大会の様子を熱心に観戦し大会を盛り上げた。翌日行われた雪上競技は快晴に恵まれ, 最高のコース状況のもとアキヤボート搬送競技, チーム滑走競技が行われた (大会詳細は添付資料)。 群馬県安全対策部はじめ、地元協力者のもと無事大会を終えることができたことを感謝し報告に代えます。	